

WITH コロナ時代に

「たかすちょこっと応援タイ」・「企救丘スキルマーケット（仮称）」話し合い 地域のいろいろな生活支援：市民センターを拠点にした住民主体のまちづくりをめざして！

地域のつながりをいかした生活支援（福祉）のまちづくりをめざす「たかすちょこっと応援タイ」を参考に「企救丘スキルマーケット」（検討中）の話し合いが10月22日14時30分～16時30分高須市民センターで行われました。

・参加者：（高須）高須社協会長、高須地域生活支援相談員、高須市民センター館長、（企救丘）企救丘市民センター館長・まち協副会長

・内容：スライドをもとに、「高須のちょこっと応援タイ」活動を紹介。（以下概要）

・概要：ずっと住み続けたい「高須」づくりの生活支援組織「たかすちょこっと応援タイ」は、高齢化する地域のニーズに対して、2018年7月に開設。2018年12月に正式に社協の生活支援相談員の配置があり、高須市民センターを拠点に活動を促進、2021年10月3年目の活動を継続。

・応援タイの会員は、現在36名。日常のゴミ出し、家具の移動、電球替え、庭の環境整備、買い物支援、病院付き添いなど生活支援全般に及んでいる。さらに、学校、公園や緑道の公共施設の



ちょこっとした応援作業など年間200件ほどの活動をしている。

また、空き家の樹木、雑草、物品放置などご近所とのトラブルも地域包括支援センターや行政とつなぎ改善している。また大きな作業業務は、シルバー人材センターにつないでいる。

作業は、原則、依頼のご家族生活者と一緒にするようにしており、会話の中から傾聴対応することもあり

「介護者をつなぐふれあいカフェ」などの開催へと発展する要素にもなっている。

・生活支援作業は、気遣いのないように1時間500円程度のチケットを購入してもらい作業時の水分補給代やガソリン代などに当てている。費用弁償的内容については、ポイント制にして個人への還元も検討している。

・福祉のまちづくりの要。地域に愛されるチームづくり。さらにウイズコロナ時代にも対応。など活動の輪を広げたい。

「企救丘スキルマーケット」（仮称）や他地域のいろいろなかたちの「お助け隊」とも連携して北九州全域に「笑顔の生活支援ボランティア」が普及するよう努めたい。

（報告：香月）

たかすちょこっと応援タイのきずな



○「たかすちょこっと応援タイ」交流会の開催

応援タイ結成後半年が経過したことにより、応援タイ員の交流会を2019年4月19日に行いました。応援タイ員の熱い思いが語られました。